



“一丁啮”が行く！

第97回：祇園祭

7月は京都人にとっては特別な月。すなわち祇園祭の月なんです。祇園祭は17日の山鉾巡行が有名ですが、7月1日から31日まで、1ヶ月間にわたって繰り広げられる一大イベントなんです。(イベントなんていうと不謹慎かも知れませんが、れっきとした“神事”なのでから…)



1ヶ月間にわたって…と言いましたが、ハイライトは17日の山鉾巡行と神輿渡御(神幸祭)、前日の宵山その前日の宵々山。(前祭…さきまつり)

また昨年から後祭(あとまつり)が復活し、24日も

山鉾巡行と神輿渡御(還幸祭)が行われます。今年は15日の宵々山の日気温が低くて涼しく、また宵山の日も例年に比べてかなり涼しく感じられました。

私は八坂神社の近くで生まれ育ったので、祇園祭という大変懐かしくもあり感慨深さを感じます。しかし例年なかなか行く機会に恵まれなかったのですが、今年は宵山が土曜日ということもあって、夕方から浴衣を着て出掛けました。

昨年は台風の影響で雨が降り9万人くらいの人出だったそうですが、今年は土曜日でしかも比較的涼しかったこともあり32万人の人出だったそうです。

昨年から後祭が復活したと言いましたが、その目玉は大船鉾です。一昨年150年ぶりに復活した大船鉾、今年は152年ぶりに復元された装飾品「竜頭」が取り付けられました。(→写真)



この記事を書いている今日は23日。後祭の宵山です。前祭みたいに四条通が歩行者天国になったり、屋台が出たりしませんが、比較的空いていそうなので、浴衣を着てまた出掛けようかと思っています(^0^)



のほそ道

☺シリーズをご活用いただいているいろいろなお客様を尋ねて感じたことや学んだことを徒然なるままに……

こんにちは！黒焦げになりそうな「👤」です・・・お盆までたどり着けるのか心配になっておりますが、元気は元気です！

今回は、夏に関するテーマです～(^^)

さて、8月は夏休みを取られて旅行に行く方もいらっしゃると思います。会社の予定表に書かれる時は、「夏季休暇」「夏期休暇」どちらでしょうか？

けっこう、人によってバラバラなんですよね♪

因みに「👤」は「夏季休暇」って書いてますよ。どっちが正解なんでしょう？

調べて見ました♪ どうやら、結論的には「夏季休暇」みたいです。

NHKさんのサイトに紹介されていました！

どうやら、「季節」の1つとして夏を取り上げるのか、「期間」の名称の1つとして扱うのがポイントになるようです。

- ・暑いから休むのは「夏季休暇」
- ・「比較的長い休みをとるのがたまたま夏である」という意識であれば「夏期休暇」

なんだか解ったような、解らないような(・・?)

とにかく！「👤」は「暑いから休む」ので「夏季休暇」ということで宜敷く御願ひ申し上げます！

さて、帰宅してから自分の子供に聞いてみたところ・・・「私はずっと夏休み～♪」

どっちでもええということね・・・そらそうですね・・・^^;

気を取り直して、張り切って暑さを満喫します～♪



<http://www.nhk.or.jp/bunken/summary/kotoba/term/063.html>



読者 訪問



第79回

お伺いした会社 有限会社 ハマオフィスサプライ
お話を伺った方 代表取締役 浜 義人 様
会社の所在地 〒582-0001 大阪府柏原市本郷5丁目7番5号
連絡先など TEL 072-972-3985 FAX 072-971-5995
事業内容 事務用品、事務機器、文具、オフィス家具等の販売

今回は弊社の販売店さんである(有)ハマオフィスサプライの浜社長をお訪ねしました。浜社長は徳島県のご出身で高校卒業後、事務機器メーカーに就職されました。その後、事務機販売店勤務を経て30歳の時に独立開業されました。以来40年近く現在まで、いわゆる事務屋さんとして企業への事務機器等の販売などをなさってこられました。

複写機の販売でゼロックス社とのお取引が始まったときに当社の販売管理システム『**ばんばん@**』と出会い、それまでに知っていた某社のシステムと比べてコストパフォーマンスの良さに驚き、すぐ

に導入をお決め下さいました。それ以来何度かのレベルアップを経ながら現在も『**ばんばん@**』シリーズをお使いいただいております。

また、自社使用で得た知識と経験をもとにお得意先にもお勧めいただき、同社経由で多くのお客様に導入させていただきました。

全盛期は13名の社員を抱え積極的な営業展開をなさっていたそうですが、アスクルやカウネットなどのネット通販の出現や、ロフトや東急ハンズなどの大型専門店の出現などで、文具、事務機業界が受けた打撃は大きく、同社も現在では社長お一人で営業を続けておられるという状況となってしまいました。



かつてショールームを開設していた店舗の外観

学校の文具類の需要も少子化が進んで少なくなり、複写機のカウント料もメーカー間の競争激化で以前の1/4程度まで下がっていき、同業界の経営環境は大変厳しいものとなってきています。

人を雇っている事務機文具店のほとんどは倒産や廃業でなくなったとおっしゃいます。大手の事務機文具卸業もほとんどなくなり、業界の様相は様変わりしてきました。

そのような環境の中にあって、我々のような小さな小回りのきく事務機文具商をあてにして下さっているお客様がある限り事業は続けていきたいとおっしゃいます。

一方で年齢的な衰えも否定できず、コピー用紙5,000枚入りの箱が持てなくなったら商売を辞めるとおっしゃいます。5,000枚入りの箱、23kgだそうです。まだまだ持っているとのお元気の証拠。

どうか地元のためにもますますお元気でしっかりと事業を継続していただきたいと思います。と念じつつ帰路につきました。



浜社長



注文があれば即配達できるようにと在庫をお持ちです

TOPICS

ワンテーブル交流会に出展します

京都中小企業家同友会・北地域会主催

2016年 第5回 北地域会

ワンテーブル交流会

入場無料

日時 2016年9月4日(日)

開催時間 午後2時～5時30分

会場 ハイアットリージェンシー京都
ボールルームI
東山区三十三間堂廻り644 Tel.075-541-1234

企画内容 ワンテーブル交流会(午後2時～5時30分)
※北地域会5支部の会員企業25社が出展予定

京都中小企業家同友会 北地域会が主催する『ワンテーブル交流会』に出展します。このワンテーブル交流会は、京都中小企業家同友会の会員企業が自社の商品などを展示し、会員同士の交流を深めると共に、対外的に自らのビジネスをアピールすることを目的として開催しています。サポートも自社の事業をアピールするために出展していますので是非お立ち寄り下さい。

